

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
M212T401		精神看護学実習 (Clinical Practice of Psychiatric and Mental Health Nursing)					精神看護学								
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態						
必修	2	4	医学部看護学科	前	他	日本語			複数(共同)						
担当教員	氏名 岩本祐一、河野修 E-mail yiwamoto@ 内線 5074														
授業の概要	精神を障害された個人およびその家族を理解し、精神の健康の回復に向けた治療的な関わりができる基礎的な能力を養う。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1 精神障がい者をありのままに捉えることができる。															
目標2 精神障がい者と治療的患者・看護師関係を構築することができる。															
目標3 対象の個別性にあつた看護過程を展開することができる。															
目標4 精神医療における看護の役割・機能を説明することができる。															
目標5 看護学生として、治療チームの一員として責任ある行動や主体的な学習態度をとれる。															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)									1	2	2		2		3
授業の内容															
1	実習場所														
2	大分大学医学部附属病院2階北病棟														
3	博愛病院精神科デイケア														
4	実習方法														
5	・大分大学医学部附属病院2階北病棟および博愛病院精神科デイケアにおいて各々1週間ずつ実習する。														
6	・各施設にて1名の入院患者および利用者を受け持ち、オレム・アンダーウッドのセルフケアモデルを用いて、対象を理解し、必要な援助について学ぶ。														
7	・各施設で実施されている精神科リハビリテーションに参加する。														
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
ラーニング	A:知識の定着・確認	・実習事前オリエンテーションにおいて、施設見学を行い、実習開始までにどのような準備をすればよいのか、学生が主体的に考える機会をもつ。				工夫		その他の							
	B:意見の表現・交換														
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造	・実習最終日には、2つの施設での実習で学んだことをグループでまとめ、ディスカッションを通して精神障がい者の理解を深													
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	実習開始までに自身の学習課題を明確にし、精神看護学で使用した教科書や配布資料を用い学習を行う。(10h)													
	事後学修	毎日の記録物の提出を通して、看護実践を振り返りながら翌日の看護実践に向けた準備を行う(20h)。													
	想定時間合計														
教科書	精神看護学で使用した教科書および配布した資料を活用する。														
参考書	参考文献等は適宜提示する。														

